

科目番号	25-6927	科目群	演習				
授業名	演習(現代アメリカ法)						
副題							
担当教員	柿嶋美子・唐津恵一・浅香吉幹						
種別	選択	単位数	2	年次	2・3	学期	S
他専攻等との合併	総合法政専攻, 法学部と合併						
<p>演習の目的・ねらい・進め方</p> <p>ミシガン大学とコロンビア大学のロー・スクール教授により, 今日のアメリカ法が直面するホット・イシューにつき英語で授業をしていただく。授業のスタイルは各教授によって多少異なるが, 予習を前提としたソクラティック・メソッド(質疑応答形式)を主流とするアメリカのロー・スクールの雰囲気を感じてもらう。時間が変則(主要部分は6月と7月の火曜5限, 木曜4限を使った週2コマ)であることに注意。日本人教授が同席して補助するので, 多少英語に自信がなくても, 英語での授業にチャレンジしようという学生の参加を歓迎する。第1回のイントロダクション(説明会)にも必ず参加すること。出席・発言と授業内容に関連したレポート(日本語または英語)とが評価の基準となる。</p>							
<p>授業の構成</p> <p>以下の事項を取り上げる。</p> <p>第1回(4月11日(火)5限) イントロダクション:授業の概要説明</p> <p>第2回—第5回(6月6日(火)5限, 8日(木)4限, 13日(火)5限, 15日(木)4限) ミシガン大学の Jessica Litman教授:アメリカ著作権入門:アメリカ著作権法は日本の著作権法とは顕著に異なる。この授業は, 日本の著作権法になじみのある学生でも, 著作権法を学んだことのない学生でも興味を引くようにしたい。日本法とアメリカ法とで顕著に異なる著作権法の分野に焦点をあてる。前半2回ではアメリカ法のもとでの著作物と著作権者を扱う。後半2回では, 排他的著作権の範囲, 著作権侵害, アメリカのフェアユース法理を検討する。</p> <p>第6回—第9回(6月20日(火)5限, 22日(木)4限, 27日(火)5限, 29日(木)4限) コロンビア大学の Zohar Goshen教授:アメリカ会社法:理論と実務:デラウェア会社法は, アメリカ経済でのその重要性から「アメリカ会社法」とみなされている。授業はM&A(合併買収)を中心としたデラウェア会社法入門である。授業では, アメリカ会社法に底流する理論と, 友好的・敵対的買収を規律するデラウェア法原則の主要素を検討する。さらにアメリカ法を比較法的視点からの文脈に置く。</p> <p>第10回—第13回(7月4日(火)5限, 6日(木)4限, 11日(火)5限, 13日(木)4限) ミシガン大学の Gabriel Mendlow教授:アメリカ刑法において最重要の原則は, ラテン語で「犯罪意思」を意味する mens reaをもって行為した場合にのみ犯罪者が処罰されうる, ということであるともいえよう。この授業ではmens rea要件の性質, 機能, 重要性を検討する。まず, 諸犯罪の定義で用いられるさまざまな心的状態を特定し区別するのに用いられる基本的な概念と用語から始める。そして, 要求される心的状態について明示していない, または曖昧な, 刑事制定法をいかに解釈するかなど, より上級の問題を取り上げる。</p>							

教材等	英文教材は配付する。毎回20ページ程度の予習をしていくことになる。
成績評価の方法	筆記試験を 行わない
	平常点を 考慮する
	レポートを 課す
	成績を 合格・不合格 で評価する
開講年度 (予定)	1. 毎年開講
特記事項	